

エッジテクノロジーの少し先の未来と新たなサービスの可能性を示す

去る2019年11月20日(水)から3日間、協会主催の組込み×IoT総合技術展「Embedded Technology 2019/IoT Technology 2019」がパシフィコ横浜で開催された。“エッジテクノロジー総合展”として、ますます重要となるテーマの“今とこれから”的情報を発信した会場に、23,000人を超える来場者が集まった。



今回は405社・団体の出展者による817小間の規模で開催された。基調講演に登壇したメジャー企業や注目の技術企業で構成したパビリオンや47社が集ったスタートアップ、台湾、日本から集ったRISC-V関連企業など最新の技術動向、トレンドをキャッチアップした企画パビリオンも充実し、少し先の未来を見据えた技術、新たなサービスの可能性を示すことができた。

テーマパビリオン、学生・教育関係者向け見学ツアーなど企画も好評

展示会場で大いに注目を集めたのが、基調講演と運動しピックアップテーマごとに未来を展望した「Future Design Pavilion」と国内外のスタートアップ企業が集結した「スタートアップパビリオン」。どちらも前回に続けて開設された企画パビリオンだが、参加企業が増え充実度がアップした。エッジの今を示すテーマからモビリティ、エネルギー、セキュリティ、AI、ロボティクス、5G(ローカル5G)をピックアップしたFuture Design PavilionはSBドライブ、デンソー、テスラ、綜合警備保障(ALSOK)、クアルコム、ランドログ、Idein、DeepXが基調講演とあわせ最新の技術やサービスを紹介した。カンファレンスの中でも注目が集まるのが基調講演だが、講演で語られた技術やソリューションをその場で体験できるというリアルな機会に来場者の関心も高くなる。より未来感が体験できるパビリオンとして定番化も期待できそうだ。

スタートアップパビリオンには、ほぼ倍増となる47社が集った。AIやデータ解析、通信技術など高い専門性を持つ企業がデモ展示とメインステージで連日行なったショートスピーチで技術力をアピールした。IoTビジネスで優位性を保つには多様な産業分野に適用する体制が必要で、オープンイノベーションを重視する企業が増えていく。特にそうしたパートナーを求める来場者には貴重な情報が一気に得られる場となるため、今後も本展の価値を高める企画となるだろう。

新たに実施した企画「エンベデッドキャンパス」も好評を得た。学生や教育関係者を対象にした「JASA業界研究セミナー」聴講

&ベース見学ツアー企画で、業界への興味と理解を深めようというもの。『大変勉強になつた』『こうしたアピールの場が増えると良い』といった声も聞かれ、人材育成への手応えを感じることができた。

今回も120以上のプログラムを実施したカンファレンスは、テーマや講師陣の顔ぶれにも『素晴らしい』との感想が多く、聴講者の満足度の高い情報を発信することができた。いよいよ5Gの商用サービスが開始される今年の展示会では、さらにホットな技術トピックを展示とカンファレンスでタイムリーにお届けし、ますます価値の高い展示会を目指していく。その2020は11月18日(水)から3日間、パシフィコ横浜で開催される。

ET・IoT Technology名古屋、 2月5日(水)、6日(木)の両日に開催

来る2月5日(水)6日(木)の両日、名古屋市千種区の吹上ホールにおいて、2回目となる「ET・IoT Technology NAGOYA 2020」が開催される(同時開催展: TECH Biz EXPO 2020/フロンティア21エレクトロニクスショー2020)。高度な技術力・製造力を有する名古屋圏において様々なIoTシステムや組込み機器の設計・開発・サービス等に携わる技術者を中心に、主要企業による展示と専門セミナーでキーテクノロジーの最新動向を伝える。



基調講演には卓越したエッジAIの技術を備えるDeepX、Idein、エヌビディアが登壇、インテリジェントエッジの最先端情報を発信する。

[詳細・聴講登録]

<http://www.jasa.or.jp/etnagoya/>